

### 2.13 予防保全

現地機器や室内機器を使用可能な状態に努めていくための行動はこの節にて議論される、データの完全性が機器の不備によって危機にさらされることのないことを保証することを可能にする重要なスペアパーツを特定することまで含めて、日々の決まりきった手入りは実行され、記録されるべきである。

QA プロジェクト計画はサンプル採取や分析に必要な不可欠な現地や室内の機器がどのようにして正しい作業手順で維持されるかを記すべきである。予防保全は以下のような形式になるだろう 1)損失の大きい機能停止期間をなくすことと測定システムの正確性を保証するためのスケジュール化されたメンテナンス行動。2)利用可能なスペアパーツ、バックアップシステムや機器。機器は定期的な点検や正しい作業手順を保証するための予防保全処置を必要としている。機材は適切な資質を持った個人によって定期的なキャリブレーションや予防保全を行われるべきであり、絶えず行われるキャリブレーションや検出された問題そして適用された是正措置の記録は保管されるべきである。環境的な測定値（化学的な生物学的な物質）の作業において行われる重要な物質に対する承諾テストプログラムはそれらの利用よりも優先して行われるべきである。